

2025年 国立国語院 K-ティーチャープログラム



Ministry of Culture, Sports and Tourism
National Institute of
Korean Language

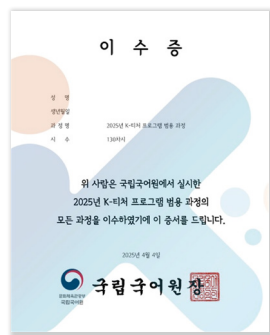
国立国語院K-ティーチャープログラムとは何ですか？

世界各地で韓国語を教えている先生のスキル強化を支援するプログラムです。

国外居住者として「韓国語の先生になられる方、韓国語の先生として活動されている方」に参加していただくことができ、プログラム履修者には韓国の国立国語院長名義の履修証*とオープンバッジが発行されます。

K-ティーチャープログラムは
国立国語院韓国語教授学習センター
(kcenter.korean.go.kr)
にてオンラインで運営されます。

* 韓国の国語基本法に基づく「韓国語教員資格」とは連携していません。



国立国語院K-ティーチャープログラムの受講場所はどこですか？

国立国語院韓国語教授学習センター(kcenter.korean.go.kr)
で受講していただくことができます。

コース別の詳細については
「K-ティーチャープログラムープログラムガイド
私に合ったコースを探すーコース案内」
でご確認ください！



2025年 K-ティーチャープログラムの受講対象者は誰ですか？

・韓国以外の国の韓国（語）学・韓国語教育学に関する専攻者または
韓国以外の国の韓国語教育機関で活動している教員

* 関連分野の専攻者もしくは機関に所属している教員
であることが証明できる資料提出が必要です。
(例：卒業証明書、指導教授の推薦書
所属機関の在職証明書など)



国立国語院K-ティーチャープログラム受講のメリットは何ですか？



韓国以外の国における韓国語教育現場に必要な理論
科目を勉強することで、韓国語教員のスキルアッ
プを図ることができます。



様々な学習者を対象に行うことができる実習科目
を学習することで、韓国語教室に必要な教授能力を
涵養することができます。



韓国以外の国に在住する教員のために特別に制作された
言語圏別（ロシア語、ベトナム語、英語、日本語、中国語、
タイ語）の現地特化コースを受講することで、現地の言語・
文化や学習者の特性に合った教授スキルを強化することが
できます。



国立国語院K-ティーチャープログラムの履修証とオープ
ンバッジを受け取ることで、韓国語教員としてのプライ
ドを高めることができます。

2025年 K-ティーチャープログラムには、どのようなコースがありますか？

・2025年 K-ティーチャープログラムは、コース構成や受講対象によって以下のようなコースに分かれます。

| | 汎用コース | 分野別コース | 現地特化コース | カスタマイズコース（自由に構成可能） |
|----|---|---|--|---|
| 特徴 | K-ティーチャープログラムの基本コース | K-ティーチャープログラムの汎用コースを分野別にまとめて構成したコース（計3種） | 汎用コースを基本として現地語で制作された特化コース | 現地の大学（院）や機関のニーズによって希望の科目、期間を設定し構成するコース |
| 対象 | 韓国以外の国の韓国（語）学・韓国語教育学に関する専攻者、韓国以外の国の韓国語教育機関で活動中の教員 | | 汎用コースを修了した当該言語圏（ロシア語/ベトナム語/英語/日本語/中国語/タイ語）の受講生 | カスタマイズコースを要請した学校/機関の所属者 |
| 構成 | 韓国語教育に共通するスキル中心の理論と実習科目 (理論 計28科目100コマ) (実習 計7科目30コマ) | 理論 コース1 韓国語学と言語学、韓国文化 計14科目44コマ 理論 コース2 韓国語教育論 計14科目56コマ 実習 コース 韓国語教育実習 計7科目30コマ | 対照言語学、 発音教育論 (言語圏別に3～6コマ) | 韓国語学モデル、 韓国語教授法モデル、 韓国文化モデル (15～30コマなど違いあり) 単位の連携可能 |

2025年K-ティーチャープログラムの全科目をご紹介します。

・2025年K-ティーチャープログラムのコースを構成している全科目は、以下の通りです。

| 韓国語学・言語学に関する科目 | 韓国語教育論に関する科目 | 韓国文化に関する科目 | 韓国語教育実習論に関する科目 | 現地特化科目 |
|--|---|---|--|---|
| 11科目32コマ 韓国語学概論、 韓国語の歴史、 外国語としての韓国語文法論 外国語習得論など | 14科目56コマ 韓国語教育論、 韓国語教授法、 韓国語教材論、 韓国文学教育論など | 3科目12コマ 韓国の現代文化、 韓国の歴史、 韓国の生活文化 | 7科目30コマ 韓国語教育実習理論、 教授設計と教室での授業運営、 理解/表現領域の授業参観分析など | 10科目30コマ 対照言語学（韓国語とロシア語）、 対照言語学（韓国語とベトナム語）など 英語圏の学習者向けの発音教育論、 中国人や日本人学習者向けの発音教育論など |

※ 課程別に科目が異なって構成されています。

2025年K-ティーチャープログラムには、どのように参加したらいいですか？（汎用コースの場合）

01 会員登録/履修登録

国立国語院韓国語教授学習センター(kcenter.korean.go.kr)
で会員登録・履修登録（随時申請可能）



02 受講承認

証明書確認後、5日以内（平日基準）

* 例：卒業証明書、指導教授の推薦書、所属機関の在職証明書など



03 講義受講・受験

受講・評価期間：履修登録日から6ヶ月

- 6ヶ月以内に全科目を受講し、総合試験を受験
- コース履修条件^{*}を満たした翌日から受験可能

* 理論コース80%以上、実習コース95%以上受講



04 履修証の発行

コース履修（理論コース80%、実習コース95%以上）
＋ 総合試験合格（60%以上）を達成された方に、履修証・オープンバッジ発行



※ 分野別コース、現地特化コース、カスタマイズコースなどは、受講期間・履修条件などが異なるため、
詳細は国立国語院韓国語教授センター(kcenter.korean.go.kr)をご参照ください。



詳細事項は、
国立国語院K-ティーチャープログラムの運営事業団までお問い合わせください。

K-teacher@kakao.com